



身延清稜小だより

身延町立身延清稜小学校 TEL.0556-42-2520
令和3年6月18日 校長 佐野三代司
学校教育目標「進んで学び やさしい心もち
心身ともにたくましい児童の育成」

あいさつは「心をつなぐ魔法の言葉」



梅雨の季節を迎え、蒸し暑い日が続きます。木々の緑は一層色濃くなり、夏の到来を感じさせます。

子どもたちは毎日元気よく登校してきてくれています。朝のあいさつもとてもよくできる身延清稜小の子どもたちです。子どもたちの登校時、私は可能な限り児童玄関の前に立ち、子どもたちとあいさつを交わすようにしています。先日の全校集会で子どもたちに話ができる機会がありました。ちょうど良い機会と考え、「あいさつは心をつなぐ魔法の言葉」とあいさつの大切さや、身延清稜小の子どもたちはあいさつがよくできて

すばらしいことを話しました。「あいさつ」の四文字は、「あ」は明るく、「い」はいつも、「さ」は(自分から)先に、「つ」は(心をつなぐ、ということも伝えました。高学年の子どもたちには、「語先後礼」といういねいなあいさつの仕方についても説明しました。

いじめに代表されるような、人との関わり方が上手くできなくて問題に発展することが多くの学校で起きていますが、「人は、人と人の間で人間になる」と言われるくらい、人との関わりは大切なことです。そして、いろいろな人と関わりを持つには、自分から心を開くことが大切で、その始まりがあいさつをすることだと思います。

是非、家庭や地域でも、これまで同様、あいさつに力を入れていただき、「おはよう」「行ってきます」「行ってらっしゃい」「いただきます」という家庭でのあいさつ、「こんにちは」「ありがとう」といった地域でのあいさつが盛んに聞こえるようにしていっていただければ幸いです。言葉に出すことで、親子の愛情や地域のつながりは、もっともっと深まっていくと思います。



6月11日にはプール開きを行いました。昨年度はコロナウイルス感染症対策のため実施できなかった水泳の授業を、今年度は実施します。更衣室での密を避け、マスクを取った後の人と人との間隔を十分に取る等、感染症対策に配慮しながらの水泳授業となります。昨年は実施できずにいましたが、場合によっては命を守ることににつながる学習です。保護者の皆様には水泳授業実施にご理解をいただき、水着



の準備、プールカードへの記入等にご協力をお願いします。特にプールカードについては、これまでの健康観察カードに加えてのお願いとなります。各ご家庭の忙しい朝にご負担をおかけしますが、現在のコロナ禍の中での授業ということにご理解をいただきご協力を重ねてお願いいたします。

15日に通知でお知らせしましたように、感染拡大による山梨県からの要請を受け、今回の授業参観・学年PTAを中止といたしました。既にお仕事のご都合をつけていただいていたご家庭もあったこととは思いますが、ご理解をお願いいたします。1日でも早い感染の収束を重ねて願うばかりです。

自己ベストをめざした 5・6年生陸上記録会

5月28日、下山小グラウンドで、中部支会陸上記録会が行われました。身延町内の3つの小学校の5・6年生が参加しました。日程の関係で、十分な練習ができたわけではありませんでしたが、自分自身への挑戦と自分のベストを尽くすことをめざして、一生懸命がんばる姿があらこちらで見えました。また、集まった仲間の頑張りも認め、拍手を送って応援する姿も素晴らしいものでした。今年は、感染症対策として、声を出しての応援、他校との交流も十分にはできませんでしたが、町内の5・6年生が一堂に会して、陸上種目に取り組む機会は、子どもたちの良い経験になったことと思います。



3年生は学区探検へ出かけました



3年生は、社会科学習で静川地区や久那土地区へ出かけました。役場本庁舎や久那土駅など、学区のあらこちらを見学しました。役場では、町長室にも入れていただき、町長さんと記念写真も撮りました。

元気いっぱい! 1・2年生春の遠足

1・2年生は、6月1日に春の遠足に出かけました。行き先は下山のクラフトパークです。お天気にも恵まれ、元気いっぱい校外での活動に取り組みました。午前には手漉き和紙体験、午後は生き物さがしをして、元気いっぱい遊んできました。お弁当もおいしく食べられました。お弁当の準備、ありがとうございました。



「ごみのゆくえ」を見学しました、4年生

4年生は、6月16日に峡南衛生組合の見学に出かけました。ごみはどのように集められ、処理されているか、調べたいこと、聞きたいことをまとめ見学しました。ごみ処理のしくみやごみの量の多さに驚きながら、私たちの生活に欠かせない施設について学びました。(写真➤)

